

小城市認知症ケアパス

～小城市で自分らしく過ごすために～



認知症ケアパスとは

認知症ケアパスとは、認知症の進行や状態に合わせて利用できる制度やサービスをまとめたものです。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気です。正しい知識を持ち、よりよい生活を送りましょう。

1. チェックしてみましょう

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う、問う、する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の理解ができなくなった
- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある
- ささいなことで、怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える
- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎこんで何をするのもおっくうがり嫌がる

いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医・お住まいの地域のおたっしゅ本舗に相談してみましょう。

(医学的な診断基準はありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください)